



令和元年5月17日
国土交通省中部地方整備局
木曽川上流河川事務所
木曽川下流河川事務所

地元建設業者とタイアップ！

～防災力強化を目的に木曽川左岸災害対策研修会を開催～

概要

近年の大雨による災害対応を振り返り、防災力のさらなる強化を図るため、（一社）愛知県建設業協会と木曽川左岸災害対策研修会を実施します。

本研修は、木曽川上流河川事務所と木曽川下流河川事務所の合同開催とし、災害時の協力に関する協定に基づき、相互の情報共有や連携を図り、官民一体となった災害対応力をより一層高めることを目指します。

- 開催日時 令和元年5月21日（火） 10:00～15:30
「第一部」10:00～12:00（研修会）
「第二部」13:30～15:30（災害対策車両操作訓練）
- 開催場所 「第一部」尾西生涯学習センター 6階大ホール（一宮市東五城字備前12番地）
「第二部」木曽川左岸名神高速道路上流部河川敷（一宮市富田地先） ※別紙参照
- 主催 木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所
- 参加者 木曽川上流・木曽川下流河川事務所職員 約20名
（一社）愛知県建設業協会会員企業 約30名
- 内容 「第一部」災害又は事故における緊急的な応急対策支援に関する協定等について
防災情報等の提供について
「第二部」対策本部車、排水ポンプ車、照明車の操作訓練
- 解禁 指定なし
- 配布先 一宮日刊記者会
- 問合せ先 木曽川上流河川事務所 岐阜市忠節町5-1
（事務局） TEL: 058-251-4265（防災情報課直通）
副所長 永田 基
保全対策官 川口 一彦

会場案内図



<災害対策車両訓練会場>



堤防道路より新堤天端管理用通路へ進入後坂路を降りて下さい。
駐車場は高水敷もしくは堤防天端を利用して下さい。

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車 (たいさくほんぶ車)

【木曽上保有台数 1台】



げんち たいさく ほんぶ かつやく

◆現地対策本部として活躍

車体を拡幅した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車 (はいすいポンプ車)

【木曽上保有台数 4台】

◆小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本(30m³/分)の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約25時間稼働します。



照明車 (しょうめい車)

【木曽上保有台数 2台】

◆緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。

